

消 防 団



1 歴代消防組頭・警防団長・消防団長

(令和6年4月1日現在)

代	氏名	期 間		備 考
		自	至	
1	櫛山亮則	大正9年7月6日	昭和14年5月25日	鹿児島県消防議会委員
2	川畑孝市	昭和14年5月25日	昭和26年9月30日	鹿児島県消防協会理事
3	寺田藤吉	昭和26年10月1日	昭和34年3月31日	
4	宮原剛	昭和34年4月1日	昭和38年3月31日	
5	東賢吉	昭和38年4月1日	昭和41年2月10日	
6	浜畑熊則	昭和41年2月11日	昭和46年3月31日	鹿児島県消防協会常議員
7	鵜飼直忠	昭和46年4月1日	昭和50年2月3日	2月4日～4月14日団長不在
8	松山一男	昭和50年4月15日	昭和58年5月22日	鹿児島県消防協会理事 (S55. 4. 1～S57. 3. 31)
9	池松秋男	昭和58年5月23日	平成3年5月25日	鹿児島県消防協会常議員
10	井川直行	平成3年5月25日	平成7年4月30日	鹿児島県消防協会常議員
11	森山政幸	平成7年5月1日	平成19年3月31日	鹿児島県消防協会常議員
12	川畑安正	平成19年4月1日	令和5年3月31日	鹿児島県消防協会評議員
13	田村真一	令和5年4月1日	在 任 中	鹿児島県消防協会評議員

2 垂水市消防団の出動区分

(1) 第1次出動

(ア) 地元分団 消防車両及び小型動力ポンプ

(イ) 連絡 地元サイレン吹鳴

(2) 第2次出動

(ア) 応援出動を命じた分団の消防車両

(イ) 連絡 応援分団に対しては、電話、その他の方法で連絡応援分団のサイレンの吹鳴

(3) 第3次出動

(ア) 全分団の消防車両並びに小型動力ポンプ隣接市町村応援消防隊

(イ) 連絡 電話等及びサイレン吹鳴

3 災害時消防団配置

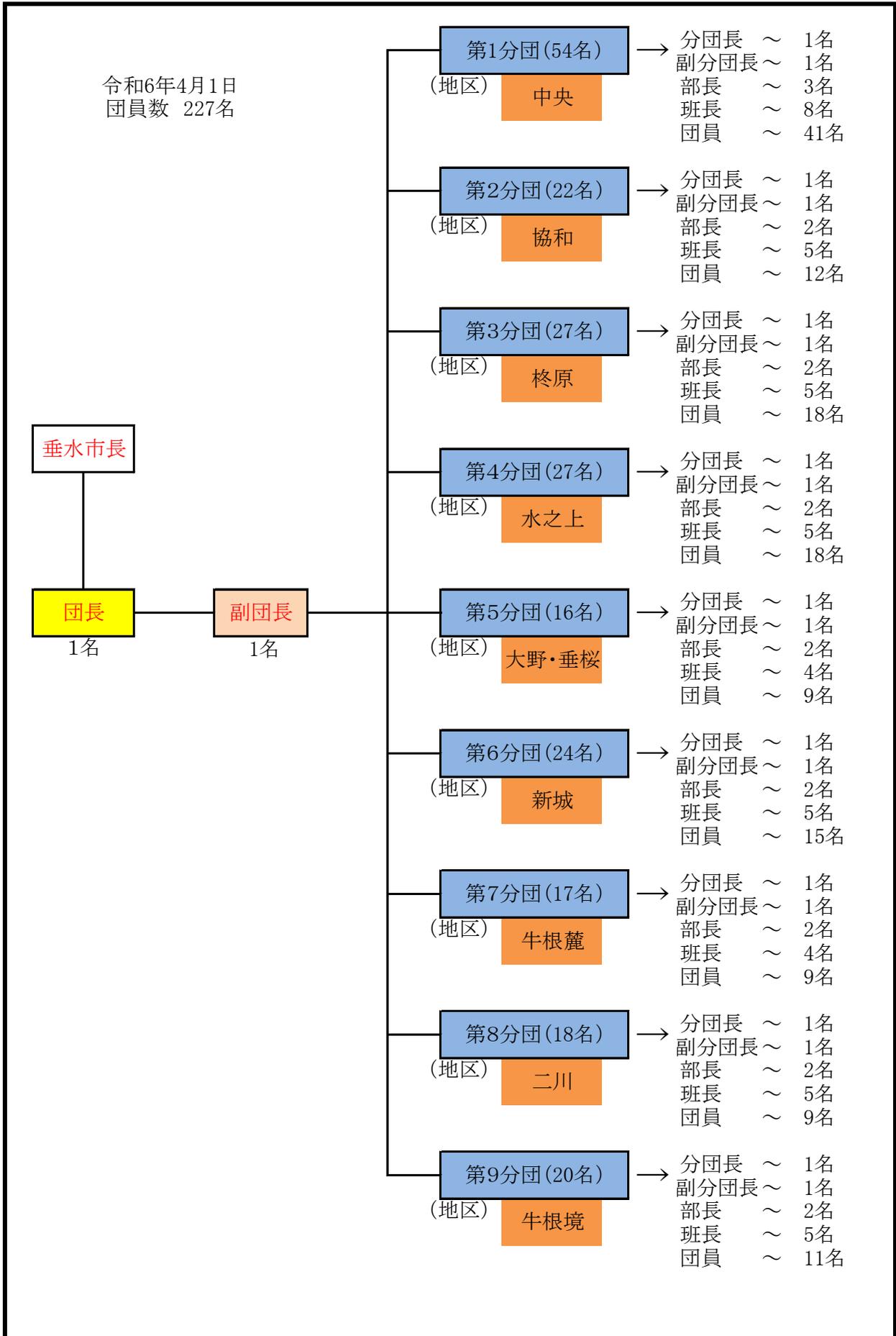
一次配備 団長・副団長 地元分団待機

二次配備 団長・副団長 消防本部待機

(令和6年4月1日現在)

					一次配備	二次配備	三次配備
分団名	定員	現団員数	部長以上	班長	正・副機関員 部長以上	一次に班長	全団員
1分団	70	57	5	8	7	15	全団員
2分団	34	26	4	5	6	11	〃
3分団	31	27	4	5	6	11	〃
4分団	32	28	4	5	6	11	〃
5分団	21	15	4	4	6	10	〃
6分団	36	25	4	5	6	11	〃
7分団	25	17	4	4	6	10	〃
8分団	30	18	4	5	6	11	〃
9分団	30	21	4	5	6	11	〃

4 垂水市消防団編成表



5 分団別消防ポンプ自動車

(令和6年4月1日現在)

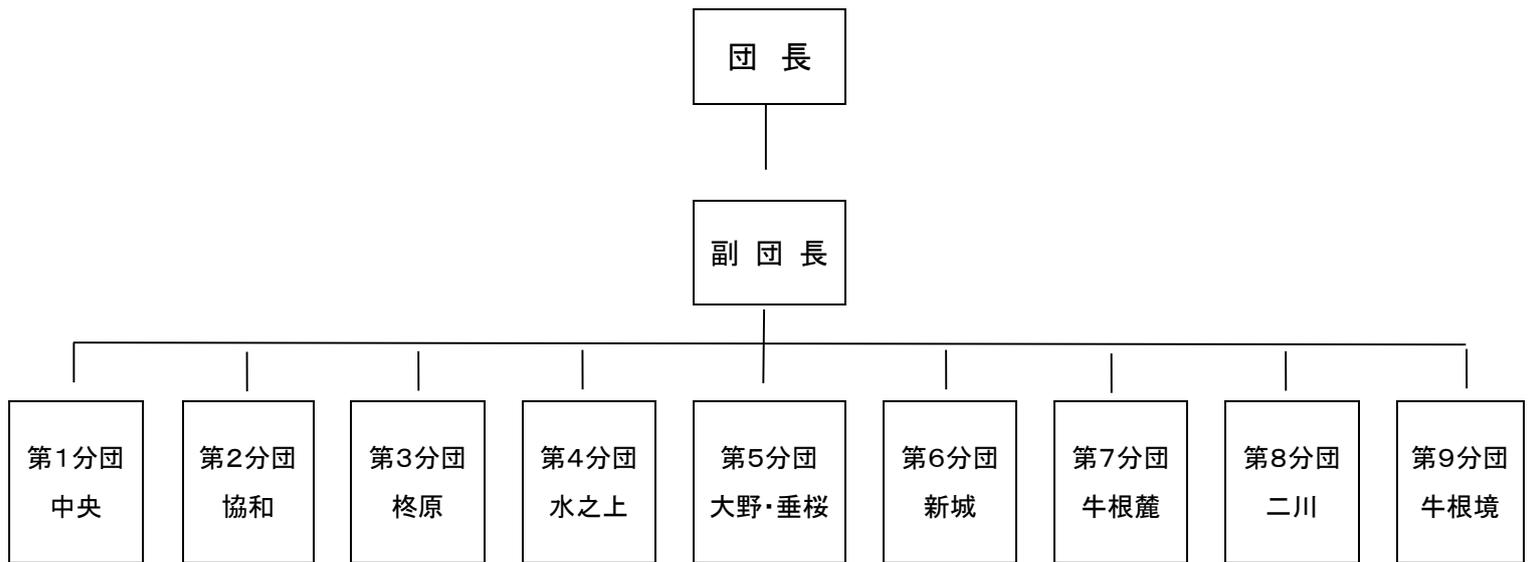
分団名	車種	購入年月日 年 式 馬力×気筒	ポンプ種類 製 作 所	ポン プ 級 別	積 載 ホ ー ス	吸 管 の 種 類	梯 子 の 種 類	照 明 器 具	車 輛 重 量 (kg)	全 長 (cm)	全 高 全 幅 (cm)	消 火 器 20 型	噴 霧 ノ ズ ル
第一分団	日野	H24. 11. 21 H24年式 150×4	GMいちほら 高圧バランス タービン イズミ	A2		軽量 Φ75 × 10M	二段折 たたみ 3. 6m	作業 灯 50W	3,900	527	243 188	1	2
第二分団	日野	H27.2.27 H27年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日 機	A2	10	"	" 3. 6m	"	4,350	547	250 188	1	2
第三分団	日野	H20.10.27 H20年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 森 田	A2		軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,730	525	250 188	1	2
第四分団	日野	H23. 3. 10 H23年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日 機	A2	18	"	"	"	3,820	525	256 188	1	4
(第五分団)	トヨタ	H28. 11. 22 H28年式	水槽付小型 ポンプ 積載車	-	20	Φ7 5 × 8M	アルミ製 伸縮型 3. 5m	"	4,220	553	261 190	1	2
(垂桜分団)	日産	H4.11.10 H4年式 135×4	高圧2段 バランス タービン 小 川	A2	20	"	" 3. 6m	"	3,060	550	235 183	1	2
第六分団	日野	H26. 11. 5 H26年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日 機	A2		軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,890	532	254 188	1	4
第七分団	日野	H25. 11. 14 H25年式 125×4	インデュー サー付1段ボ リュートポンプ アルミポンプ 森 田	A2	20	軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,770	530	247 188	1	2
第八分団	日野	H24. 11. 21 H24年式 150×4	GMいちほら 高圧バランス タービン イズミ	A2		軽量 Φ75 × 8M	" 3. 6m	"	3,900	527	243 188	1	2
第九分団	日野	H23. 3. 8 H23年式 150×4	高圧2段 バランス タービン 日 機	A2	20	軽量 Φ75 × 10M	" 3. 6m	"	3,820	525	256 188	1	4

6 分団別小型動力ポンプ

(令和6年4月1日現在)

分団	設置場所	年式	会社名	購入年月日	馬力
1	浜平	H25	トーハツ	平成25年7月16日	30
2	車庫	H15	シバウラ	平成15年12月8日	43
	脇登	H26	ラビット	平成26年11月14日	32
3	車庫	R3	シバウラ	令和3年9月17日	22
4	馬込	R4	シバウラ	令和4年11月18日	22
5	大野	H28	トーハツ	平成28年11月22日	22
	垂桜	H21	シバウラ	平成21年8月27日	45
6	車庫	H17	ラビット	平成17年8月9日	46
7	辺田	H27	トーハツ	平成27年8月10日	22
8	深港	H12	トーハツ	平成12年12月13日	40
	中浜	H16	ラビット	平成16年6月25日	46
9	車庫	H30	シバウラ	平成30年10月23日	22.8
	高野	H10	シバウラ	平成10年12月11日	53

7 垂水市消防団現勢



(令和6年4月1日現在)

区分		地区別											合計
		団長	副団長	第1分団(中央)	第2分団(協和)	第3分団(柘原)	第4分団(水之上)	第5分団(大野・垂桜)	第6分団(新城)	第7分団(牛根麓)	第8分団(二川)	第9分団(牛根境)	
人員	条例定数	1	1	70	34	31	32	21	36	25	30	30	311
	実員数 ()内は女性団員	1	1	54 (6)	22 (1)	27 (1)	27 (5)	16 (1)	24 (3)	17 (1)	18	20 (1)	227
機械	消防ポンプ自動車			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	小型ポンプ積載車							1					1
	小型ポンプ			1	2	1	1	2	1	1	2	2	13

8 階級別団員数

(令和6年4月1日現在)

地区別 階級	団 長	副 団 長	第1分団(中央)	第2分団(協和)	第3分団(柗原)	第4分団(水之上)	第5分団(大野・垂桜)	第6分団(新城)	第7分団(牛根麓)	第8分団(二川)	第9分団(牛根境)	合 計
団 長	1											1
副 団 長		1										1
分 団 長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
副分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
部 長			3	2	2	2	2	2	2	2	2	19
班 長			8	5	5	5	4	5	4	5	5	46
団 員			41	12	18	18	9	15	9	9	11	142
合 計	1	1	54	21	27	27	17	24	17	18	20	227

9 勤続年数別団員数

(令和6年4月1日現在)

年数 階級	5年 未満	5～ 10年 未満	10～ 15年 未満	15～ 20年 未満	20～ 25年 未満	25～ 30年 未満	30年 以上	人員計	平均年数
団 長							1	1	40.0
副 団 長							1	1	40.0
分 団 長						5	4	9	35.0
副分団長			1	2		1	5	9	28.3
部 長		1	1	1	2	1	13	19	29.6
班 長	2	5	15	5	7	9	3	46	18.6
団 員	38	52	27	12	7	4	2	142	9.0
合 計	40	58	44	20	16	20	29	227	14.1

※平均年数にあつては、小数点第2位を四捨五入している。

10 年齢別団員数

(令和6年4月1日現在)

年齢 階級	21歳 未満	21～ 25 歳	26～ 30 歳	31～ 35 歳	36～ 40 歳	41～ 45 歳	46～ 50 歳	51～ 55 歳	56～ 60 歳	61歳 以上	人員計	平均 年齢
団 長										1	1	68.0
副 団 長										1	1	70.0
分団長									2	7	9	64.6
副分団長					1	1			3	5	9	61.4
部 長					1			2	3	13	19	62.7
班 長		2			4	4	9	11	5	11	46	52.2
団 員	0	5	5	16	35	25	22	7	9	18	142	43.8
合 計	0	7	5	16	40	30	31	20	22	58	227	48.3

※平均年齢にあつては、小数点第2位を四捨五入している。

11 消防団出動状況

(令和5年度中)

区分 地区別	火災		風水害		演習 訓練		広報 指導		特別 警戒		その他 (会議・研修等)		合計	
	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員	回	延 人員
団 長	0	0	0	0	5	5	0	0	3	3	10	10	18	18
副 団 長	0	0	0	0	3	3	0	0	3	3	7	7	13	13
第1分団(中央)	3	3			5	17	8	20	7	59	19	75	42	174
第2分団(協和)					5	35	7	17	7	22	16	29	35	103
第3分団(柘原)	1	2			5	46	7	15	7	32	10	58	30	153
第4分団(水之上)					3	24	7	18	7	24	18	58	35	124
第5分団(大野・垂桜)					4	17	7	14	7	30	8	24	26	85
第6分団(新城)	1	1			4	31	7	15	8	38	16	48	36	133
第7分団(牛根麓)					5	42	7	14	7	18	9	32	28	108
第8分団(二川)	1	2			4	20	7	14	7	22	11	37	30	95
第9分団(牛根境)					11	88	7	14	7	26	8	23	33	151
合 計	6	8			53	320	63	139	70	277	134	414	326	1157

1 2 消防団員教養状況

(令和6年4月1日現在)

種別		年度																		
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
県 消 防 学 校	基礎教育科	5	6	5	6	6	7	6	6	6	6	6	6	10	11	15		4	10	7
	機関科	2			2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	3	2			3	4
	初級幹部科			4	2	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	1		2	2	2
	中級幹部科																			
	指導員科																			
	指揮幹部科	現場指揮											1	1	1	2	2	2	2	1
分団指揮												1	1	1	2	2	2	2	2	2
合 計		7	6	9	10	10	10	9	10	10	10	12	12	16	20	22	4	10	18	17

※令和2年度の学校入校については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により大半が中止となったもの。

1 3 消防団員の報酬及び手当

(1) 消防団員の報酬（年額）

階 級	報 酬 額
団 長	140,000 円
副 団 長	95,000 円
分 団 長	73,000 円
副 分 団 長	52,500 円
部 長	45,000 円
班 長	42,500 円
団 員	40,500 円

(令和6年4月1日現在)

(2) 消防団員の手当

区分	出動 (1回)	警戒 (1回)	訓練 (1回)	会議等 (1回)	機関員手当（年額）		
					自動車 正機関員	自動車 副機関員	小型ポンプ 機関員
支給額	8,000 円	4,500 円	4,500 円	4,000 円	20,000 円	5,000 円	3,000 円